

刊行に寄せて



遠山 裕

作曲家=ピアニスト

「井口版」が国内版ピアノ楽譜として最も信頼されるエディションのひとつであることはいうまでもない。それはピアニストの学びや演奏のよりどころとして、70年にもわたる搖るぎないロングセラーの実績を有している。このエディションのリニューアル企画が2020年という年に立ち上げられたのは有意義かつ象徴的なことと思われる。それはこの版がピアノ演奏に新たな潮流をもたらし、困難な時代においても、音楽を愛する人々に多くの喜びを提供することが期待されるからだ。

新版では井口基成オリジナルの校訂を尊重しつつも、最新の研究に基づいて旧版の不備を補い、誤りを正した。また各巻に「楽曲解説」「註解」「演奏ノート」の三つのチャプターを設けて学習者・専門家の知的・実践的要求に沿うことを心がけた。ここには作品成立の背景、楽曲の構造、作曲技法、作曲家の意図、演奏解釈の歴史等が述べられ、かつ奏法のアドバイスが具体的に示されている。

この新たなエディションを手にする人々がこれまでにましてピアノの名曲に親しく接し、いきいきとした演奏を楽しむことを願ってやまない。

解説……遠山 裕 Yutaka TOYAMA

作曲家=ピアニスト。1968年生れ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学在学中「オーケストラのためのラブソディ」が初演される。管弦楽、室内楽、ピアノ、声楽等諸分野に作品を発表。バロックより現代に到る広範な演奏レパートリーを有し、明晰な解釈と美しいタッチから最も個性的なピアノ奏者の一人として注目される。1996年、朝日カルチャーセンター(新宿)にピアノ講座を開講。バッハ「平均律曲集」「ゴルトベルク変奏曲」、ベートーヴェン全ソナタ・協奏曲、ショパン全独奏曲・協奏曲、ラヴェル全独奏曲、またドビュッシー、リスト、モーツアルト、ラフマニノフ、シューマンらの主要なピアノ曲を演奏・講義している。

新版へのリニューアルに際し、巻構成を見直しました。

各巻がそれぞれ使いやすいボリュームになるよう配慮し、

曲数の多いノクターン集、エチュード集、マズルカ集を独立した巻としました。

そのため、従来のショパン集(全6巻)とは収録されている曲目が異なります。

旧 版

- 1巻 ソナタ
バラード
アンプロンプチュ (→新版3巻)
2巻 ファンタジー (→新版3巻)
スケルツォ (→新版3巻)
ノクターン
3巻 ワルツ (→新版5巻)
マズルカ (→新版6巻)
4巻 プレリュード (→新版5巻)
エチュード
5巻 ポロネーズ (→新版7巻)
6巻 ロンド、変奏曲、
バルカラル(舟歌) 他 (→新版8巻)

新 版

- 1巻 ソナタ
バラード
2巻 ノクターン
3巻 アンプロンプチュ
ファンタジー
スケルツォ
4巻 エチュード
5巻 プレリュード
ワルツ
6巻 マズルカ
7巻 ポロネーズ
8巻 ロンド、変奏曲、バルカラル(舟歌) 他

注文書 [新版] ショパン ピアノ作品集

井口基成 編集・校訂／遠山 裕 解説

ISBN
[第1巻] 978-4-393-91812-8
[第2巻] 978-4-393-91813-5
[第3巻] 978-4-393-91814-2
[第4巻] 978-4-393-91815-9
[第5巻] 978-4-393-91816-6
[第6巻] 978-4-393-91817-3
[第7巻] 978-4-393-91818-0
[第8巻] 978-4-393-91819-7

第1巻[ソナタ バラード] 冊

第5巻[プレリュード ワルツ] 冊

第2巻[ノクターン] 冊

第6巻[マズルカ] 冊

第3巻[アンプロンプチュ スケルツォ] 冊

第7巻[ポロネーズ] 冊

第4巻[エチュード] 冊

第8巻[ロンド 変奏曲
バルカラル(舟歌) 他] 冊

全8巻セット* セット

*分売可

ご住所

特約店(番線)

電話

()

お名前

春秋社

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-18-6

TEL 03-3255-9611(代) FAX 03-3253-1384

<https://www.shunjusha.co.jp/>

[新版] ショパン ピアノ作品集 [全8巻]

編集・校訂・運指：井口基成 解説：遠山 裕

2023年10月 全巻刊行

Chopin Works for piano Piano Shunjusha Edition

CHOPIN
WORKS for PIANO
1
Sonatas / Ballades



ショパン
ピアノ作品集
〔1〕ソナタ バラード

井口基成
遠山 裕
MOTONAKI KIKUCHI
YUTAKA TOYAMA

Copyright © 2023
SHUNJUSHA EDITION

春秋社

春秋社
ショパン集
新版刊行のお知らせ

新版の特長

◆楽曲解説——楽曲やジャンルを深く知るために

ショパンの創造の軌跡と作品にまつわる

背景(総論)に始まり、マズルカやポロネーズなど
さまざまなジャンルについての専門性の高い詳細な分析。

左側ペダルを積極的に使用すべきである。ショパンが後の譜面に una corda を指示することはなかったが、それはその適切な使用が彼にとってわざわざ記さずともないことであったからとも考えられる。ただしこの左ペダルを、指のみでコントロールできぬ弱音を容易に補佐するための道具と考えてはいけない。それはあくまで音質の変化に関する重要な表現手段である。奏者は踏むか踏まぬかという二元的な扱いではなく、右ペダルと同様、踏みこむの微妙な加減によって場面の雰囲気の移り変わりを細やかに演出すべきである。

10. 装飾音
マン派の作曲家の中でショパンほど装飾音の扱いに腐心した者はいなかった。これは彼の古典嗜好——ハッパやソーツアルへの親愛——とも関わることだが、ショパンは古典的装飾音をそっくりそのまま用いたわけではなく、その形状や奏法に従前の新たなビアノ表現に適合したアップデートをもたらしている。

ショパンの装飾音は大きく述べて前打音、トリル、アルペジオ、そしてフオリチルの四種類と考えてよい、これらについて簡単に述べておこう。

前打音。ショパンの記譜における最も重要な解釈の一つとして、前打音はほとんど場合(拍の間にでなく)拍と同時に奏されることが多い注意点がある。例として:

op. 25 no. 5
記譜:
奏法:
op. 48 no. 1
記譜:
奏法:
op. 25 no. 5
記譜:
奏法:
op. 48 no. 2
記譜:
奏法:
op. 20
記譜:
奏法:
op. 15 no. 1
記譜:
奏法:
op. 35 (II)
記譜:
奏法:

(9)

◆註解——膨大なショパンの史料を参照するために

井口基成による校訂上のポイントのみならず、
19世紀から今日までショパンの楽譜が辿ってきた
多くの校訂や、原典に関する情報などを明示。

◆演奏ノート——よりよい奏法を知るために

性格や表情の付け方、ペダルの使用法、
連符のとりかたなど、ショパンを演奏する上でのポイントを
きめ細かくサポート。実践で役立つ情報が満載。

曲づつ)による出版。
英初版: ロンドン Wessel & C°、1833年8月刊。仮初版を原本とする。
表題 DOUZE GRANDES ÉTUDES. 二巻の分冊(六曲もずつ)による出版。
レッスン譜: カミル・デュボワ所有仮初版。パリ、国立図書館所蔵。

ショパンは初版校正時に自筆譜のテンポ指示の多くを改め、かつ十二曲すべてにメトロノーム値を記した。当版テクストのテンポ表記はこれに準ずる。

第一曲 ハ長調
筆写譜1の拍子は6。この解説もありうるが、cが適正であろう。

8. 38, 40, 56, 60, 64, 74小節。右手のアクセントは原典によると。これらは特に重要な変化音や和音を示すものである。

第29小節。ピューロー、アーリードマンらの校訂版では右手最後の十六分音符「e」(原典)が「b」とされた。この可能性も否定できないが、ショパンはあえて「e」を採ったものと私は考える。

第二曲 イ短調
筆写譜2の拍子は6。Vivace(=60)の記譜。この解説もありうるが、現テクスト(c, Allegro)が適正であろう。

第7小節。原註①に示された異名は独初版のものだが、これは誤りである。

第三曲 ハ長調
作曲の過程でテンポ指示は自筆譜3「Vivace」→自筆譜「Vivace ma non troppo」→初版「Lento ma non troppo」と変化した。Vivace (ma non troppo)は主部においてはありえないテンポだが、中間部には適用可能である。このエチュードのテンポの遷移が Lento ma non troppo (第1~21小節) → poco più animato (第21~42小節) → Vivace (ma non troppo) (第42~54小節) → ritenuto-smorzando poco rall. (第53~61小節) → Lento ma non troppo (第62~77小節) のようならランでありますとすれば、ショパンが Vivace および Lento という二種類のテンポを表記したことにも理解できなくはない。

第7, 8小節。レッスン譜には右手前打音部分に次のようなアルペジオ記号の書き込みがある:

op. 49
記譜:
奏法:
op. 30~31, 34~35小節。右手の配音は原典諸版に異なる:
●自筆譜初版

(31)

〔新版〕ショパン ピアノ作品集〔全8巻〕収録作品

1 ソナタ Op. 35《葬送行進曲つき》、Op. 58 バラード Op. 23, 38, 47, 52

133頁+解説47頁 予価2640円

2 ノクターン Op. 9, 15, 27, 32, 37, 48, 55, 62, 72 no. 1

115頁+解説43頁 予価2530円

3 アンプロンプチュ Op. 29, 36, 51, 66《幻想即興曲》

ファンタジー Op. 49 スケルツォ Op. 20, 31, 39, 54

97頁+解説41頁 予価2640円

4 12のエチュード Op. 10 12のエチュード Op. 25 3つの新エチュード

113頁+解説45頁 予価2640円

5 24のプレリュード Op. 28 プレリュード Op. 45

ワルツ Op. 18《華麗なる大円舞曲》、Op. 34《華麗なる円舞曲》、 Op. 64 no. 1《小犬のワルツ》、Op. 69 no. 1《告別》、ホ短調(遺作) 他

113頁+解説51頁 予価2640円

6 マズルカ Op. 6, 7, 17, 24, 30, 33, 41, 50, 56, 59, 63, 67, 68 「ラ・フランス・ミュズイカル」、「エミル・ガイヤール」

120頁+解説43頁 予価2860円

7 ポロネーズ Op. 26、Op. 40 no. 1《軍隊ポロネーズ》、Op. 40 no. 2、Op. 44、 Op. 53《英雄ポロネーズ》、Op. 61《ポロネーズ=ファンタジー》、Op. 71、 Op. 22《アンダンテ・スピアナーと華麗なる大ポロネーズ》

119頁+解説41頁 予価2640円

8 ロンド Op. 1 マズルカ風ロンド Op. 5 ロンド Op. 16

華麗なる変奏曲 Op. 12 ドイツ民謡による変奏曲(遺作)

ボレロ Op. 19 タランテラ Op. 43 演奏会用アレグロ Op. 46

ベルスーズ(子守歌) Op. 57 バルカラル(舟歌) Op. 60

葬送行進曲 Op. 72 no. 2 3つのエコセーズ Op. 72 no. 3

137頁+解説43頁 予価2860円

菊倍判[タテ311mm×ヨコ229mm]/切付表紙(函なし) *価格は税込み

好評発売中……〔新版〕ベートーヴェン ピアノ作品集〔全5巻〕(解説:遠山裕)

〔新版〕バッハ ピアノ作品集〔全6巻〕(解説:遠山裕)

次回刊行予定……〔新版〕リスト ピアノ作品集〔全6巻〕(解説:近藤嘉宏)